



## 樹木いきいき講座 <その19> 3班 藤原満男

### ～スズメバチの話～

子どもの頃、軒下にハチが巣を作って飛び回っていたので、やっつけてやろうと石を投げたり水をかけて遊んだが最後には泣くはめになった。

庭木の剪定を生業なりわいにするようになって毎年アシナガバチに刺された。数10センチ近づくと警告し威嚇してくる。刺さないで体当たりすることもあった。刺される前に巣を見つけ出し殺虫スプレーをしてとにかく巣を落とす。守るべきものが無くなると戦意を失う。

6年前に日本ミツバチを譲り受け、途切れながらも飼い続けている。9月になると頻りにスズメバチが来てミツバチをさらって行くようになる。ミツバチが4群いた年に1階と2階の軒下にスズメバチが巣を作っていた。この時は仕事用のスプレーヤー※で殺虫剤をしっかりとかけ翌日に戻りハチがいなくなったのを確かめた上で巣を落とした。

スズメバチは11月から3月、女王蜂だけが石垣や朽

木の隙間で越冬する。他は死に巣はリユースしない。4月から6月は女王と幼虫だけなので危険が少ない。

木の穴、土の中の空洞、石垣、生け垣などに巣を作り大きくなるにつれ危険度を増す。

ひと夏に2回も3回も刺されたことがあったが、その都度#7119 救急相談センターに電話して近くの専門医を教えてもらい、事なきを得た。対策としては黒いものや強い匂いのする化粧品は避ける。攻撃されそうになったら、動くものに反応するので、動作を止め身体を低くする。そしてゆっくり巣から遠ざかる。



スズメバチ  
(原寸大)



ニホンミツバチ

**スズメバチ**：名は、その大きさが「雀ほどもある」または「巣の模様が雀の模様に似ている」ことに由来する。性質はおおむね攻撃性が高い。

1匹の女王蜂を中心とした大きな社会を形成し、その防衛のために大型動物をも襲撃する。また凶暴かつ好戦的で積極的に刺してくることも多いことで知られる。しかし、これは巣を守るためで、何もせずとも襲ってくるように見えるのは、人間が巣の近くにいることに気付かないためであり、振り払うと攻撃を受けたと思われて、反撃してくる場合がある。すばやい動作は目立ってしまいスズメバチの関心を引くことにつながるため、ゆっくりと静かに動くことが大切。危害を加えるつもりがないとわかれば、スズメバチは帰っていきます。

